建築物衛生研修

SBOs	科目及び講義課題	講師名	時間数		
			集合	オンライン	遠隔
１．建築物衛生とそれによる居住者への健康影響の関係を系統的に理解し、説明することができる。	Ⅰ　建築物衛生				
	1.1　建築物衛生の動向と課題	(院内講師)		A　2	
	1.2　建築物と健康	(未定)		A　2	
	1.3　化学物質管理とリスク評価	(未定)		A　2	
	1.4　環境保健行政の国内外の動向	(未定)		A　2	
	1.5　建築物衛生行政	(衛生課担当官)		A　2	
	1.6　建築物衛生の歴史	(日本建築衛生管理教育センター)		A　2	
	1.7　都市と建築物	(院内講師)		A　2	
２．建築室内環境の概要と環境をよくするための方法を理解し、対策を提案・説明できる。	Ⅱ　建築物環境衛生				
	2.1　建築物環境衛生				
	2.1.1 建築物室内環境概論	(未定)		A　2	
	2.1.2 温熱環境	(未定)		A　2	
	2.1.3 湿度環境	(院内講師)		A　2	
	2.1.4 シックハウスと室内空気汚染	(院内講師)		A　2	
	2.1.5 微生物	(未定)		A　2	
	2.1.6 アレルゲン	(未定)		A　2	
	2.1.7 レジオネラ	(未定)		A　2	
	2.1.8 ねずみ・衛生害虫	(未定)		A　2	
	2.1.9 たばこ・放射線	(院内講師)		A　2	
	2.2　建築空調設備				
	2.2.1 空気調和設備・衛生管理	(院内講師)		A　2	
	2.2.2 空調図面の読み方	(未定)	A　2		
	2.2.3 空調、省エネルギーと室内環境	(院内講師)		A　2	
	2.2.4 建築物における加湿と湿度	(未定)		A　2	
３．建築物衛生における健康危機管理について、建築衛生監視の視点からその問題の本質を理解し、説明，対応，指示することができる。	Ⅲ　建築物衛生管理				
	3.1　衛生管理の各論				
	3.1.1 水の衛生と管理	(院内講師)		A　2	
	3.1.2 給排水設備の維持管理	(未定)	A　2		
	3.1.3 建物の清掃・廃棄物処理	(未定)		A　2	
	3.1.4 空調用ダクトの衛生管理	(未定)	A　2		
	3.1.5 厚労科研(最近の話題)	(院内講師他)		A　2	
	3.2　管理業務の実際	(未定)		A　4	
	3.2.1 東京都ビル監視体制	(都環境保健担当)			
	3.2.2 建築物の衛生監視	(保健所職員等)			
	3.3 環境衛生測定法	(未定)	C　4		
	3.3.1 環境衛生測定法				
	3.3.2 環境衛生測定実習				
４．建築物衛生に関する問題の対応のためのネットワークや体制づくりの方法を提案し，説明することができる。	Ⅳ　建築物衛生の実際				
	4.1　科学院における建築物管理	主任・副主任	D　2		
	4.2　建築設備技術見学	主任・副主任	D　4		
	4.3　事例報告セミナー	主任・副主任		B　2	
	4.4　セミナー(最近の話題)	主任・副主任	B　2		
	4.5　グループ演習	主任・副主任	B　8	B　8	
			小計　26	58	

時間数								
	集合	A　6.0	B　10.0	C　4.0	D 6.0	E	合計	84
	オンライン	A　48.0	B　10.0	C	D	E		
	遠隔	A	B	C	D	E		

Aは講義、Bは演習、Cは実験、Dは見学、Eはその他、修了時評価等（オリエンテーション、開講式・閉講式は除く。）

遠隔は、遠隔システムを利用し、予習・復習を行うもの（事前課題は除く。）